

宜基渉第44号
平成29年1月26日

外務省沖縄担当大使
川田 司 殿

宜野湾市長 佐喜眞 淳

普天間基地所属機による不時着について（厳重抗議）

1月20日、普天間基地所属のAH-1Zが伊計島に不時着したと、沖縄防衛局より連絡を受けました。

普天間基地所属機については、先月、MV-22 オスプレイの不時着水事故及び脚部故障が発生し、さらに今月に入ってから、CH-53ヘリの前脚障害や、飛行する米軍機からの異音が確認され、相次ぐ事故や機体の不具合、夜間飛行など米軍機の運用全体に対する市民の不安や不信感は頂点に達しております。

本市としましても、この間、貴事務所をはじめとする関係機関に、繰り返し抗議・要請を行っているにもかかわらず、改善されるどころか、このような事案が何度も繰り返される状況に強い憤りを禁じ得ず、極めて遺憾であります。

つきましては、今回の不時着に強く抗議し、徹底した原因究明と、具体的な再発防止策の策定を求めるとともに、平成29年1月17日付け、宜基渉第43号文書にて抗議・要請した、夜間飛行の禁止や抑制をはじめとする各事項について、その実現を改めて強く要請いたします。

また、問題の抜本的解決に向け、市民の強い願いである普天間飛行場の一日も早い閉鎖・返還と、5年以内運用停止をはじめとする危険性除去及び基地負担軽減を早急に実現するよう重ねて強く要請いたします。